

アジア大気環境改善に関する 環境省とクリーン・エア・アジア（CAA）の協力について

1. 背景と目的

大気汚染は、近年は国境も越えるアジア地域の問題となっている。アジア各国は法制度を整え技術を普及することで解決に取り組んでおり、特に、人口や産業が集中し主要な汚染源となっている都市域での対策について経験を共有することで、広くアジア地域の問題解決が促進されることが期待される。

日本国環境省とクリーン・エア・アジアは、協力してPM2.5等の大気汚染物質の削減を含む大気環境の改善に向けた制度及び技術に関する能力強化プログラムを構築し、その実施により、アジアの都市大気環境を改善し、アジア地域の人々が健康で暮らしやすい環境の実現に貢献する。

2. 具体的な取組

（1）アジアの清浄な都市大気環境のための指針（案）の作成

アジアの各都市が政策立案・実施に活用することを目指した「アジアの清浄な都市大気環境のための指針（案）」を作成する。本指針（案）には、大気環境基準、モニタリング、排出インベントリ、政策、対策、コベネフィット等についての提言・推奨事項が盛り込まれる。本指針（案）は、以下の政府間会合での承認を目指す。

（2）アジアの都市大気環境に関する政府間会合の開催

本年11月に第5回アジアの都市大気環境に関する政府間会合を開催する。参加する都市や関係機関の取組や課題、上記の指針を活用した活動等について議論する。

（3）アジアの清浄な都市大気環境のための指針を活用したアジア主要都市の能力構築

指針を活用し、アジア主要都市の能力構築を推進する。中国の長江デルタ地域と東北部を重点地域とし、指針の提言や推奨する活動を踏まえた活動計画策定の支援や地域内の都市間での協働した対策を促進する。あわせて、広くアジア地域の政策立案者及び技術者が指針を活用できるよう、Eラーニングによる能力構築も実施する。

（4）PM2.5のモニタリングについての技術支援

PM2.5モニタリングをまだ行っていない都市を対象に、装置設置やモニタリング実施のための各種能力（運転、メンテナンス、データ分析、データ品質保証・管理等）の構築を支援する。